

山岳ぐんま

群馬県山岳連盟

発行人：吉田直人 / 編集人：根井康雄

〒371-0031 前橋市下小出町2-46-1 (小池寛喜方) tel 027-235-9247 E-mail: tomoyoshikoike3810@gmail.com



ぐんま県境稜線トレイルの山並み (浅間隠山から)

top News

総会を終えて

「法人化と名称変更で進化、発展」



群馬県山岳連盟 会長 吉田直人

コロナに翻弄され、しばらく対面開催ができなかった総会が3年ぶりに5月28日、前橋総合福祉会館で開催されました。群馬県山岳連盟のターニングポイントとも言える重要な議案が含まれる今回の総会に大変お忙しい中、駆けつけてくださいました顧問の中曾根弘文参議院議員にご挨拶を賜り、令和4年度群馬県山岳連盟定時総会は開会されました。重要な議案とは言うまでもなく群馬県山岳連盟の法人化と名称変更を理事、評議員のみなさんに十分審議してもらうこと

にありました。

両議案とも特に反対意見は無く、採決の結果、賛成多数で承認され、令和5年4月1日一般社団法人群馬県山岳・スポーツクライミング連盟として新たに発足いたします。

なぜ法人化と名称変更をするのかということを実際のところ疑問に思っている方も中にはいらっしゃると思いますので、その「なぜならば」を簡単におさらいしたいと思います。

法人化について

法人化によりこれまで以上の組織の透明性、公平性、公正性が求められますが、権利と義務を主体とした組織として認められます。権限、役割、責任の所在を明確にし、内部、外部からの運営チェックをすることでガバナンスが確保できます。

現在の登山や山岳スポーツはジャンルの多様化が進行しており、現在の組織（任意団体）では対応できない事案が発生する可能性があります。また最近のスポーツ界でのセクハラ、パワハラ、お金の問題等相次ぐ不祥事も明るみに出でてきています。これらを撲滅させるために、上部団体である、公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会が全国の岳連に対し、ガバナンスの確立とコンプライアンスの遵守を求め法人化を推し進めていることも事実であります。スマートフォンの普及により拡散力も高く不特定多数の人が閲覧できるSNSが一般化し、個人情報の流出や肖像権の侵害など今までなかったトラブルを発生させないためにも法人化して世の中の変化に対応していかなくてはなりません。書類作成や会計処理の手間が増し煩雑な作業が多くなりコストも掛かるデメリットもありますがそれらを差し引いても法人化する必要性を感じ群馬県山岳連盟は法人化に舵を切ったということです。

名称変更について

1941（昭和16）年に発足した前身の群馬県山岳聯合会から数え81年、群馬岳連の旗の下、加盟する山

岳会をはじめ多くの県民の方々のご支援により育てられてきた群馬県山岳連盟の名をそう簡単に変えられるはずは無い。当初はかなりの方が（私も含め）違和感をいただいたと推測いたします。岩登りをルーツに持つスポーツクライミングがひとつの競技として確立され、国体はスポーツクライミングのみに変わりました。アーバンスポーツにもかかわらず旧態依然として使われていた国体山岳競技は3年前の茨城国体よりスポーツクライミング競技となり、これ自体は分かり易くなりましたが、これを取りまとめている団体はどこなのか、となると山岳連盟と答えられる人はきわめて少ないでしょう。山岳連盟の後にスポーツクライミングを加えることで万人にも分かり易くなり7年後2029（令和11）年の群馬国体を控え群馬県山岳・スポーツクライミング連盟という名称の浸透を図って行きたいと思えます。

ちなみに再来年開催の佐賀県から長年親しまれてきた国民体育大会（国体）の名称が国民スポーツ大会（国スポ）に変わります。

理事の高齢化や人材不足など課題は山積していますが、脱皮できない蛇は死ぬという言葉があるように、脱皮し群馬県を代表する山岳団体として存続し続けるため来年4月1日に向け滞りなく準備を進めていく所存です。

先人が築いてきた群馬県山岳連盟の良き伝統を受け継ぎ新しい団体として進化、発展することを願っております。

総会資料【第3号議案】

役員改選について（理事会提案）

5月理事会で検討した結果、以下の役員を推薦いたします。

1. 会長 吉田直人（重任） 境町山の会
2. 副会長 小林達也（重任） 高体連登山部OB会
副会長 土屋邦夫（重任） 群馬登高会
副会長 佐藤光由（重任） 群馬ミヤマ山岳会
3. 監事 金井昭男（新任） 群馬独峰会
監事 荒木輝夫（重任） 日本山岳会群馬支部
外部監査役 永田智彦（重任） 永田会計事務所

*原案通り承認

総会資料【第4号議案】

法人化について

2年にわたるコロナ禍により法人化を延期してきたが、3年前に理事会で決議した通り、令和5年4月1日より一般社団法人に移行したい。

1. 山岳連盟法人化について説明と賛否
2. 名称変更について 現行のままかスポーツクライミングを付けるか
3. 定款について 基本を提示し、詳細の修正（公証役場による修正を含む）は理事会に委任し、設立総会で承認
4. 資産移行について 現在のすべての資産を新法人に移行する

*審議の結果、下記のとおり決定

1. 令和5年4月1日より一般社団法人にすることに決定
2. 名称は群馬県山岳・スポーツクライミング連盟
3. 定款修正を理事会に委任
4. 全ての財産を新法人に移行することに決定

「谷川岳山開き・安全祈願祭」



7月3日（日）午前4時から、みなかみ町湯檜曾の谷川岳インフォメーションセンター前で、恒例の谷川岳山開きが行われた。今年はコロナ禍での2年続けての縮小開催から、通常開催に戻った。

上越線の臨時夜行列車「谷川岳山開き号」で3時過ぎに土合駅に着いた登山客を迎える篝火の準備には岳連、労山のほか、今年から日本山岳会群馬支部も加わった。

式典には八木原圀明岳連顧問・谷川岳山岳資料館長、吉田直人会長と群馬県勤労者山岳連盟の清水隆次会長、日本山岳会群馬支部の根井康雄支部長も参列した。式典は、「でんでこ座」三国太鼓の和太鼓演奏に始まり、水上山岳会の中島正二代表理事の主催者あいさつ、来賓紹介に続いて安

全祈願神事が執り行われた。来賓祝辞の後、土合霊園地で茅の輪くぐりの登り初めも行われた。

今年は梅雨明けも異例の速さで、当日は早くも本格的夏山シーズン到来、という山開きとなったが、主催者あいさつで中島代表理事は「今年も安全登山を」と呼びかけた。

この日は谷川岳インフォメーションセンターの早朝オープン（午前3時30分）、谷川岳ロープウェイの早朝運行（午前5時から）のほか、一ノ倉沢出合でのアルプホルンの演奏のほか肩の小屋での豚汁ふるまいやミニコンサート、土合駅での土合朝市など、さまざまなイベントも行われ、谷川岳とその周辺は山開きムードに包まれ、多くの登山者・ハイカーや観光客でにぎわいを見せていた。



株式会社エーアールアイ
東京都練馬区上石神井 3-18-1
TEL 03-5991-4638



救助隊解散と新しい遭難対策委員会

遭難対策委員長 櫻澤齊

長 年活動してきました救助隊が、昨年度をもって解散することになりました。群馬岳連 50 周年史の田中成幸さんの寄稿によると、結成が昭和 44 年の秋と記されているので、53 年間の活動期間となります。設置以前から数多くの遭難救助活動の現場に出動し活躍していた群馬岳連各会と救助隊ですが、現在は山岳救助において警察と消防からの現場出動依頼はなくなり、救助隊が出動する機会は少なくなりました。

長い救助隊の歴史の中で、私の所属した期間はほんの一部であり、隊としての救助出動は入隊以後 15 年間一度もありませんでした。目ざましい活躍もそれ以前の物となります。憧れであった救助隊入隊のきっかけになった、先輩から声をかけていただいた時のジワジワこみ上げる喜び

と誇りは、今でも鮮明に覚えています。

救助隊への思いは先輩方の方が大きいと思いますので、後に記されるであろう先輩に託して新しい遭難対策委員会について記載します。

遭難対策委員会は今まで救助隊が中心であったことに間違いのないと思います。その柱が外され、委員会の主軸をどのようにしていくのか、取り組んでいくのか、構成委員と相談しながら活動していく所存です。

現時点で構想している活動について少し触れます。1. 救助隊で学んだ技術を、興味がある岳連会員の皆様、また、一般の皆様と共有できればと思いオープンにワイヤー・ロープのレスキューの伝承を行う。2. 若い世代の横のつながりは救助隊が重要な役割を持っていましたので岳連

内や他の組織との繋がりを強化するイベントを検討する。3. 登山道の危険箇所へのパトロールと発信を強化。4. これまでのように講習会や研究の継続。

青写真ではありますが、1 つずつ取り組んでいけたらと思います。

最後に、今年度から救助隊が無くなり遭難対策委員会では山岳救助・捜索は行いません。一気に減遭難対策や講習会をメインに舵を切るわけですが、今年一年は周りの方々に、お助けいただき情報収集しながら来年度に向けて準備していきます。遭難対策委員会に要望等ありましたら委員長まで連絡いただければありがたいです。

まだ右も左もわからない遭難対策委員会委員長ですので岳連会員の皆様に、ご協力いただければ幸いです。



弱電工事承ります。
電話工事、ネットワーク工事及びセットアップ(LAN 及び Wi-Fi 環境)、
TV アンテナ及びケーブル工事
パソコンで悩んでいませんか？
ソフトの使い方はわかりませんが、ハードの悩みは相談してください。
(難しい故障の場合は外注となります。)

ミヤマネットワーク

代表 佐藤光由
群馬県前橋市高花台 1-6-5
電話 027-269-1143 携帯 090-8842-2158

2022年度 群馬山岳連盟 登山教室 参加者募集

これから登山を始めたい人
登山を安全に楽しみたい人

登山の基本を学びたい人
単独登山で心配だという人

1. 目的・対象 安全で楽しい登山のための基本的な知識と技術を習得 中学生以上の人で原則として全日程参加できる人(募集人数 先着 24名)
2. 主催・指導者 群馬県山岳連盟・日本スポーツ協会公認山岳指導者(コーチ 1,2)
3. 日程・内容

第1回	2022年8月29日(月) 19:00~21:00 会場:前橋市総合福祉会館 社会適応訓練室 開講式、 はじめに「登山の魅力と安全登山」座学①「ナビゲーション技術1(地形図の基礎とその利用)」
第2回	2022年9月5日(月) 19:00~21:00 会場:前橋市総合福祉会館 社会適応訓練室 座学②「ナビゲーション技術2(地図とコンパスの利用、GPS・スマホの利用)」
第3回	2022年9月10日(土) 8:00~15:30 登山実技 榛名山 講習内容:座学①②の確認、歩行 技術、休憩・行動食のとり方、装備・パッキング等
第4回	2022年9月17日(土) 8:00~15:30 登山実技 榛名山 講習内容:第3回と同じ
第5回	2022年9月20日(火) 19:00~21:00 会場:前橋市総合福祉会館 社会適応訓練室 座学③「登山計画書」、座学④「山のファーストエイド」、閉講式
特別講習	2023年2月25日(土) 8:00~15:30 玉原湿原周辺 登山実技「スノーシュー講習」 *希望者が少ない時は中止

4. 参加費 :5,000円(秋5回分、資料代・保険料を含む) 第1回の受付にて徴収(納入後の返金不可)
5. 申し込み方法 A、Bどちらかの方法で申し込む

A	郵送(封筒)での申し込み 申込用紙のすべての事項を記入し、下記住所宛に郵送
B	Eメール(携帯キャリアメールは不可)での申し込み 申込用紙のすべての事項を入力し、下記アドレス宛に送信

*申込み受付期間 2022年7月1日(金)~8月15日(月) *募集人数 先着 24名

*申込み・問合せ先

〒373-0802 群馬県太田市矢場新町 138-11 登山教室事務局 対比地 昇 宛

Eメール :tsuicck@gmail.com / 携帯 :080-3595-9245

6. その他

- ①講習についての詳細は、8月下旬に郵送またはEメールにて連絡します
- ②全5回すべての講習を受講された方には修了証を授与します。
- ③新型コロナの感染状況によっては中止になる場合もあります。
- ④群馬県山岳連盟のホームページ(<https://www.gunmaken-sangakurenmei.net>)に要項、申込状況、連絡事項などを掲載しますので、ご覧いただける方は確認してください。
- ⑤この講習会で撮影した写真やビデオをホームページや他の行事で使用する場合があります。

自然体験

群馬県山岳連盟ジュニア委員会主催 **チャレンジキッズプロジェクト**

岩登りと沢巡り

2022年
10月8日(土) 小雨決行



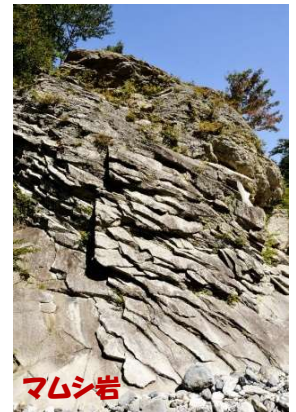
秋の谷川岳の自然を親子で体験しよう！
雄大で厳しい景観を眺め岩登りを体験しよう！
自然観察をし解説を聞きながら沢巡りを楽しもう！

自然観察をしながらマチガ沢・一ノ倉沢・幽ノ沢出合を巡りハイキングを楽しむ
希望者はマチガ沢出合の「マムシ岩」で岩登り体験(大人も参加可能)
清水峠越の歴史を知る 登山の基本を知る(質問にもお答えします)

活動場所 群馬県利根郡みなかみ町湯檜曾
集合 8:00 「谷川岳山岳資料館」前
マチガ沢出合(岩登り体験)～
一ノ倉沢出合～幽ノ沢出合
「谷川岳山岳資料館」見学
解散 15:30「谷川岳山岳資料館」
活動時間 約6時間30分
(休憩、昼食、自然観察等の時間を含む)
<指導者> 群馬県山岳連盟ジュニア委員会
金子一実 他

募集対象

小学1年生～中学3年生
子ども:20名 大人:20名
参加費 小学生 :1,000円
保護者 :2,000円
保険料 岩登り希望:1,500円
岩登り希望無: 300円



<申し込み>

専用の申込書を使用して郵送してください。
群馬県山岳連盟HPからダウンロードできます。
HP <http://www.gunmaken-sanngakurenmei.net>
申込書を送ってほしい方はご連絡ください。
締め切り 10月3日(月)(定員になり次第締め切ります)

<申し込み先・問い合わせ>

(群馬県山岳連盟ジュニア委員会担当者)
〒376-0125 桐生市新里町山上2,468 阿部悦子宛
TEL 090-7223-6956 Email nouiku@hotmail.co.jp
または 金子一実
TEL 090-5784-1005
Email kaneko0728@kha.biglobe.ne.jp

※この活動では、団体広報や子どもゆめ基金への報告のために写真撮影を行います。
撮影した写真や映像等は、広報用にHPやSNS、刊行物等に掲載することがあります。なお、子どもゆめ基金への報告用に提出した個人情報(写真)は、「(独)国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規定」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用されません。

National Institution For Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」

体験の風を
おこそう

後援 群馬県教育委員会
上毛新聞社

群馬の山

6

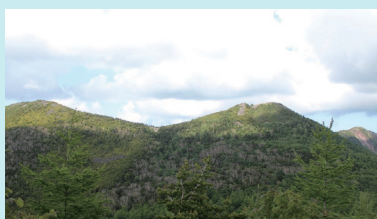
籠ノ登山往復、池の平周回コース

籠ノ登山・三方ヶ峰

難易度 A / 体力度 2

駐車場→〈0:40〉東籠ノ登山（西籠ノ登山往復は40分）→〈0:30〉駐車場→池の平（鏡池）→〈0:15〉三方ヶ峰→〈0:20〉見晴岳→〈0:50〉駐車場

浅間山から群馬・長野県境上を西に続く火山列中のピークの東籠ノ登山はこのコース上での最高地点、



右が東籠ノ登山、左が西籠ノ登山

西籠ノ登山と合わせて往復となる。東は水ノ塔山に続く。山頂付近はガレ場になっている。池の平、三方ヶ峰、見晴岳は高低差の少ないフラワートレッキングコースで、家族連れなどの軽いハイキングには、こちらのコースがおすすめ。

「群馬の山歩きベストガイド

安心して歩ける 126 コース」

群馬の山歩き ベストガイド

安心して歩ける 126 コース



定価 1400 円 + 税
ISBN978-4-86352-249-7

群馬県山岳連盟と日本山岳会群馬支部、群馬県勤労者山岳連盟による群馬県山岳団体連絡協議会の編集で、上毛新聞社から発売中。お求めは岳連総務委員会へ。県内外の書店でも好評販売中。

後編 編集集

5 月末の総会で、来春の法人化と名称変更が決まりました。「新しい酒は新しい袋に」という言葉の通り、時代の変化に合わせた変化・進化はどのような組織にとっても常に大切なことです。新型コロナもまた急激な感染拡大の動きを見せていますが、山にはたくさんの方が訪れています。山の日イベントや山フェスタなどを通して、生まれ変わる「岳連」をPRし、アウトドアスポーツの中核としての登山・ハイキング、そしてスポーツクライミングの魅力を力強く訴えていければと思います。



(有) 山とスキーの店 石井

DreamBOX

伊勢崎市宮子町 3448-2

TEL 0270-21-8025 FAX 0270-21-8026